

日四十二月一



定価 一部五銭 一月五拾銭 郵費別
廣告料 一文字五銭 行金五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

法華經の歸結

眞、繼、雲、山

一切經中の王といはれる法華經は何故それほど尊いのか。

法華經は、詳しくは妙法蓮華經といふ。妙法の妙といふ字は、甚深微妙にして何んとも彼んとも言ひ現はし方が無いの言ふたのである。しかしたゞ妙々とかかりでは聞き手が困るゆゑ天臺大師は、これを判して『諸法實相』と申された。

私たちは常に眼前の現象にのみ囚はれ、化相に迷ふてゐるが、若し諸法の實相に體達し得るなら、それが悟つたのである。悟つたものを佛といふのであるから結局、法華經とは私たちの佛と成る法を示されたものに外ならぬ。

尤も八萬四千の經典は、一として成佛の法を説かれたものでないものは無いが餘經にあつては惡人は成佛できぬとか。成佛できるにしてもいろ／＼六つかしい修行や階段を積み重ねばならぬとか乃至、戒律をたもたねばならぬとか。若しくは何人も念佛の一行によつて容易に救はれるけれど、成佛は淨土へ往つてからの話

であるといふ風に、それだけの條件附の成佛の仕方がある。固よりその一つ／＼には、それ／＼独自の尊い別の意義あることを考へねばならぬされど、兎に角それらに比して、この法華經に開顯されたところは

第一に、一切の何人もが成佛できるといふこと。第二に、それは即時に成佛できるといふこと。

ノート

ひどく運動や勞働をして疲

れますと、それを補ふものが必ずありますが此際糖分が最も早く吸収されますから水分と甘いものが適するわけで御座います。一所懸命に仕事をした後ではお菓子にお茶そんな餘裕のない時は飴類に水分の多い果物など大變元氣を恢復します

が説き明かされてゐる、それでこそ尊いのである。

二明日の献立

- 【朝】煮豆—いんげん
- 【晝】焼肴—ぼら鹽焼—小松葉ひたし
- 【晚】茶碗むし—魚肉—わの—三つ葉—推茸—竹輪

經中前半の迹門に於ける釋尊は、人間が修行して成

も心も法華經に成り切れて我れこそ花と開く蓮華の當體なれと知つた時が歡喜踊躍の成佛境である。

靈山會上の應身の釋尊がその實、久遠實成の本佛であつたと知るとき、不敏な私たちが亦た久遠劫來、未來際永劫に亘りて生死を超えた本覺の當體であつたと知ること出来る。左様に自覺したとき即身成佛の一體である。既に終りとすれば、我れこそ不生不滅の當體にして、人生の五十年はその一化に外ならぬことが分る。その自覺を即身成佛といふのであつて、法華經とはその一境の問題である左れば本佛としての釋尊が拜めない限り、自らの成佛の道は見出だせない。

華嚴經は、眞如法界より現生へと説き出したものであり、法華經は現生より本覺へと説き入れたものである。



常磐歌壇

仲井春美
若うして現世去りし人達の心を我は今味へり

大廉賣

衣流れ 裳
三丁目通り
旭屋衣裳店
電話四二五番

暫く御預りを控へて御迷惑をお掛けして居りましたが整理も一段落告げましたので從前通り夜間九時までお預りを再開致しましたから御利用御引立を御願申します。

一六銀行係

舊正月二日

景品付大賣出し

今や物價値上の時弊店は絶対に値上致しません、從前通りの値段にて大勉強致します。是非朝早くから御來店の程御待ちして居ります

星野時計店
平町三丁目平驛前通

江戸前料理 倉岩

御祝儀 御法事の御料理

多少に拘らず御用命下さい

▼出前！迅速！▲

錦水
電話四五四番

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

三井夕クシ

平町二丁目
電話五六八番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一〇七

例景品付大賣出し

本素の御引立に酬ゆる爲め奉仕品を豊富に取揃へ年一回の御禮大提供!!

吉原 赤かや洋服店

舊正月二日三日の二日間

在營兵も歸省して

榮えある歓迎會に

平町の凱旋勇士歡迎大會の

具體案成る

養鶏講習

郡下で開く

既報：平町の凱旋勇士大歡迎會は来る廿九日午前十一時から聚樂館に開催する事に決定したが是れに先立ち午前十時より子鐵倉神社にて奉告祭を執行する由である尙當日の會費は五十錢にて近く各區長其他の手を経て會員券を配附し一般希望者を募る筈因に凱旋在營兵の賜暇歸省願ひも町當局の希望が容れられ町出身在營兵は歸省を許される事になつたと

石城郡農會では最近郡下各地に鶏卵の需要増加し東京相場は一貫目一圓五十錢と云ふ安値に對し平地方では一圓七十錢で二十錢の値市ある爲め主として平地方に賣込む目的ではそれが指導の爲め各町村に於いて養鶏事業に關する講習會講演會を催すべく計劃中である

學級を増設する事
△第四小學校設置の件
昭和十一年度に延期し九年度に第三小學校を九學級増設する事

江名青年役員 石城郡江名町青年團では来る廿六日午後一時より小學校に於いて役員會開き役員の改選を行ふと

第一、第三、商業各一學級、第二は二學級、計五

納入間違ひない

金持稅

不動産取得稅調査

八月以降七八千圓

平縣稅務出張所では昨年八月より未整理にあつた不動産取得稅を徵收する爲めに土地家屋の賣買異動を昨日より登記所に調査し始めたが賦課額は八月以降本日は好財源として喜で居る

大都市への就職

希望兒童取扱方

昨日の紹介所會議で打合

既報：平職業紹介所の平町外十三連絡小學校の就職兒童紹介の打合會は昨廿三日午前十時より平町役場會議室に開會各小學校長及び指導員二十餘名出席し左記事項を協議したが大都市への就職希望兒童は直接大都市に赴かず豫め詳細な希望調査票を製作して大都市に關する件

不良少年に

誘はれた際の對策

各校々外取締協議

平町各公私立中等學校及び各小學校の校外取締協議會は来る三十一日午後一時より磐城高等女學校に於て開き左の事項に就いて協議すると

一、生徒が不良少年に誘はれたる事なきか 若しありとせば其際取扱はれたる御體験を承りたし一、協議會に於て決定せし事項は各校共協力して堅く勵行しては如何

初賣當日

磐女休校

日曜と繰換へ

磐城高等女學校にては来る二十七日舊正月二日の大賣出し當日は家すに於て夫々多忙を極めるので二十九日の日曜と繰換へて當日休校する事にしたと

平消防組に對し

平窪村から金一封

流失稻束の拾得を感謝

既報昨年十一月中の暴風雨の際平消防組では鎌田橋其他に夏井川上流より流出し來つた稻束を拾得し各被害者に分配を行つたが本日平窪村より感謝の意を表し金一封を贈つて來た

栗村井栗田邊ヨエ(三七) 回死 亡

△仲町八佐藤廣之助(五五)

平町人事

回出生

△杉平一九 當時茨城縣猿島郡古河町一三三四山崎道也氏二男利男 回婚 姻

△長橋町二五 岡部作松氏(二四)新潟縣南蒲部井

漆器を!!!

御贈答に!!! 記念品に!!! 諸景品に!!!



是非御用命をドコヨリモ、ヨイシナテ、ドコヨリモ、ヤスクウ、ナルモノミセ 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り) 各國産漆器 専門卸小賣 漆器店

店員募集 十三才位 外交員

漆器店

第四小學校 建設案延期

昨日の學務委員會決定

南町有志は更らに 猛運動を開始する

既報平町各小學校學務委員會は昨日午後一時より町會々議室に於て開き八年度豫算及び學級増設第四小學校設置等に就いて協議したがいづれも左の如く決定來るべき町會に提出する事になつたが南町有志は第四校建設延期を遺憾とし更らに目的達成の猛運動を開始する

模様である
△豫算の件
小學校費七萬五千六百九十圓、同臨時費二千八百九十五圓、商業學校費二萬三千八百九十八圓、同臨時費二千四百十九圓、合計十萬四千九百二十九圓を計上する事
△學級増設の件

印刷御用命は總て印刷日每警常
番〇三六話電

斯界の權威!!! 大塚の靴
學生靴 女學生半靴 紳士靴 流行新形
大塚製靴部 電話七七番

自動車を種に

結こん詐欺迄働く

危なかつた娘二人

平町に立廻つた處を逮捕

茨城縣久慈郡金郷村生れ當時住所不定茅野根吉雄(三三)は自動車の修繕業など偽り昨年三月頃から平町に

流れ込み 搔搦小路居住皆川元氏外十五、六名より修繕費として十五、六圓位づゝ合計二百圓餘を詐欺した事發覺廿二日平署に檢舉されたが取調の結果同人は去る廿日内郷村字綴果樹商佐川ハル方へ自分は東京の

青バス運轉手だが田舎から妻を貰ひ 度いとて同人の娘ツノに渡りを付けたが成り立たず更らに佐川の紹介で隣家の千葉政藏の娘タツノ(八)の父親を言落巧みに説き伏せ翌日三々九度の盆を取換はず事に承諾させたが平町方面の詐欺が暴露したので其儘逃走平町に來た處を取押へられたものであると

依り平署員が檢死せる結果老衰を悲觀して厭世自殺を

調髪中に

客の懷中から

財布を抜き取り

十六の小僧が酌婦遊び

平町四丁目山田理髮店方雇人六丁目生れ大村五朗(一六)假名は去る廿一日午前九時頃散髪中の赤井村大字北赤井字日渡荷馬車曳業遠藤剛(二五)のポケットに在つた五圓四十錢入りの財布を抜き取り同日午後同店を飛出し江名方面の知人を頼つて行き再び平町に引返し廿二日夜十時頃南町飲食店千代之屋方で酌婦を揚げ遊興中を平

最高二百圓の

賃金を抱いて

片倉女工が里歸り

片倉製菓系株式會社にては去る二十日既記の如く永年勤続せる男女工八十六名の表彰を舉行し左の如く賞品を授與明二十五日一年間の賃銀最高三百圓、最低百五十圓を夫々持たせて里歸へりさせる事になつた

昨廿三日夜十一時頃南町地内を徘徊する齊年を密行中の平署員が怪み本署にて取調ると同人は相馬郡中村町新町三〇生れ松村房吉(三三)で數日前搔搦小路の村田自轉車店に立寄り現金五圓を騙取した外數件の窃盜や詐欺を働いた旨自白した

詐欺青年

密行中の捕者

外反物一反(七年)訪問着一揃外反物一反(五年)訪問着一揃(三年)上等銘仙反物一反

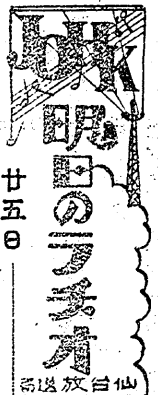
密閉した船内で

漁夫が窒息死亡

盛んに焚いた木炭から

發散したガスの中毒で

石城郡小名濱築港内に入港中であつた四倉町鰯漁船四十八社丸の船員四倉町字中須賀居住大内甚四郎(六〇)は廿二日午後九時頃密閉した



今晚も明日も北東の風晴れたり曇つたり

氣象通報 番組豫 明日の部

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
童謡つきき會童謡部員
後七、三〇 「經濟更生養
鶏座會」 西年に因みて鶏
を語る

後八、三〇 新内
後八、五〇 大衆物語
「探偵怪奇」(第一席)栗原
狭衣外音詞効果係
後九、三一 満洲より
後九、四〇 全國ニユース

前七、〇〇 ラデオ體操狀
況小石川傳通院境内より
前八、〇〇 趣味講座
「鶏の郷土傳説に就て」
庄司一郎
後八、〇〇 五掛合噺「梅さ
がし」たぬきや連
後九、〇〇 婦人講座「歌の
正しさうたび方」(一)乗
杉嘉壽

後五、三〇 受驗講座
「國語」内海弘藏
後六、〇〇 お話「面白い
科學遊び」川形寛
後七、三〇 講演「預金部
の話」元尾光輝
後八、〇〇 大衆物語
「幽霊橋太鼓」(第二席)
栗島狭衣
後八、四〇 哥澤「初音」
其他哥澤芝勢以連中
後九、〇〇 長唄「操三番
更」杆屋佐喜二 佐助
佐造

坑夫落盤壓死

石城郡湯本町字八仙居住坑夫高木兼松(三三)は廿二日午前五時頃入山炭礦第五坑内で作業中厚さ二尺幅四尺の落盤に見舞はれ下敷となつて壓死した

明日耐寒行軍

既報 平第一小學校にては明日午

致死事件延期 茨城縣鹿島郡波崎町秋刀魚船稻荷丸乗組員糸川金治郎(三三)に對する傷害致死事件の公判は本日開廷する筈の處都合に依り延期された

放火精米やに

懲役三ヶ年半

けふ公判言渡

平町久保町二十七番地精米業遠藤忠治(三三)が保險金四千四百圓詐取の目的で放火した事件の判決言渡の公判は本日午前十時より平支部に於て中島裁判長係り關口竹内、兩判事、陪席、小林檢事立會の下に開廷され裁判長より懲役三年六ヶ月を言渡された

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女中 二十才 尋卒 給
料面談(平町某)

△湯屋雜夫 四十才 尋卒
給料面談(江名町某)

△車挽 二十前後 尋卒
月十五圓(平町某)

△出前持 二十才 尋卒
給料面談(平町某食堂)

△回職を求める方
△商店雜夫 三十六才 高卒
給料面談(草野村某)

△洋裁工 二十九才 尋卒
給料面談(北海道某)

△小使 六十才 高卒 給
料面談(平町某)

△菓子工見習 十八才 高
料面談(平町某)

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

市原醫院

平町 田町
電話一四番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百五十席 千葉周作 (4)

馬が雲に化けて

○「ヤイ、奴、財布を返せ財布を、この泥棒め」

佐吉の後を追ふ、女郎屋を通り過ぎて暗い所へ来た

が

佐「ヤイ馬藤、相變らずぬしは酒の上が悪いナ」

藤「オヤこの野郎、俺の事を馬藤と知つてゐるためえは誰だ、巾着切に友達はねえや」

佐「俺だ、久しぶりで會つたな」

冠つてゐた頭巾をバラリと取つた、星明りにすかし

見て

藤「これは驚いた、清瀧の兄イか、不思議な所で會つたなア、おめへとは知らなかつた」

と云つた、この者は笹川の繁藏の子分下總香取郡

森山の馬藤といふ、本名は藤吉馬のやうな大きな奴だとそれでこんな異名がある

藤「兄イ勘忍してくんねえおめへとは知らなかつた、頭巾で顔を隠してゐるから

気が付かなかつた、それに服装が變つてゐるから猶更

気が付かねえ、法被を着てゐるところから考へると、

おめえ郎奉公をしてゐるの

佐「それでは雲助だな」



佐「今では吾妻橋向ふ鶯細川の大部屋にゐる部屋頭の使ひで竹の塚まで行つたその歸りだ」

藤「そいつは氣の毒だな、親分が繁昌してゐれば代貸

佐「さうだ、雲助だ、馬が雲に化けてしまつた、何にしろ下總は助五郎の勢力が

佐「さうか、なんで取られたと云つた」

藤「さう云はなければ物にならねえ」

佐「人の悪い奴だな」

藤「さうだ、雲助だ、馬が雲に化けてしまつた、何にしろ下總は助五郎の勢力が

藤「さう云はなければ物にならねえ」

佐「人の悪い奴だな」

藤「さう云はなければ物にならねえ」

佐「人の悪い奴だな」

藤「さう云はなければ物にならねえ」

元をする清瀧の兄が折助になるとはさて、人の一生は分らねえものだ」

佐「是も時節とあきらめてゐる、シテ主は何處にゐるのだ」

藤「千住の間屋場にころがつてゐるよ」

佐「それでは雲助だな」

藤「さうだ、雲助だ、馬が雲に化けてしまつた、何にしろ下總は助五郎の勢力が

佐「人の悪い奴だな」

藤「さうだ、雲助だ、馬が雲に化けてしまつた、何にしろ下總は助五郎の勢力が

藤「さう云はなければ物にならねえ」

佐「人の悪い奴だな」

藤「さう云はなければ物にならねえ」

佐「人の悪い奴だな」

佐「竹の塚の用を達して大橋を渡ると右側に居酒屋があつた、煮物のかほりが鼻をついて腹の蟲がキユーとなくから寒さ凌ぎに一杯やろうとそこへ飛込んで湯豆腐で飲んでゐると、その居酒屋の内儀さんは親分の姐御だ、あゝ氣の毒だ、親分に別れてその日のくらしに差支こんな家へ再縁したかと思つたがイヤ待て、親分は田畑も持つてゐれば又十一屋といふ屋敷で旅館屋をしてゐる、シテ見れば姐御一代困るやうな事はなからう、それでありながらなんで居酒屋をしでゐるか俺も不思議に思つた、スルとのびつくりしたせ、ヤイ馬藤、なんだニヤ、笑つてゐて笑つて聞く話ではなからう」

磐城共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙
石山謙 自宅(電話一二四番)

内科 醫學博士 石山謙
小兒科 醫學博士 佐久間重
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂馬重
喉科皮膚科 醫學士 五十嵐雄二
産婦人科 醫學士 佐久間
X光線科 醫學博士 石山謙
衛生試驗所 醫學博士 石山謙
藥局 藥劑士 高本孝平
◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町 磐城共濟會
電話六四一番

玉屋洋品店
平町田町通電話五六六番

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

舊正月二日の市催し物
近日發表御期待下さい
平驛前 ダイヤ堂 鈴木時計店

食事
喫茶
一エフカ
電話四六番